

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-121794

(P2011-121794A)

(43) 公開日 平成23年6月23日(2011.6.23)

(51) Int. Cl. F 1 テーマコード (参考)  
 C 01 G 23/00 (2006.01) C 01 G 23/00 C 4 G 0 4 7

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 19 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2009-279177 (P2009-279177)</p> <p>(22) 出願日 平成21年12月9日 (2009. 12. 9)</p> <p>(出願人による申告) 平成21年度、経済産業省、地域イノベーション創出研究開発事業、産業技術力強化法第19条の適用を受ける特許出願</p>	<p>(71) 出願人 599073917                  財団法人かがわ産業支援財団                  香川県高松市林町2217番地15</p> <p>(71) 出願人 304028346                  国立大学法人 香川大学                  香川県高松市幸町1番1号</p> <p>(74) 代理人 100089222                  弁理士 山内 康伸</p> <p>(74) 代理人 100134979                  弁理士 中井 博</p> <p>(72) 発明者 近田 司                  香川県高松市林町2217-43 財団法人かがわ産業支援財団高温高压流体技術研究所内</p>
---	--

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 結晶粒子形状を制御したチタン酸バリウムの製造方法

(57) 【要約】

【課題】チタン酸バリウムを効率よく合成することができ、その合成する過程における結晶粒子形状の破壊を防ぐことができる結晶粒子形状を制御したチタン酸バリウムの製造方法を提供する。

【解決手段】チタン酸水和物からチタン酸バリウムを製造する方法であって、前記チタン酸水和物とバリウム源原料と水系媒体とを混合してチタン酸バリウム原料混合物を形成し、該原料混合物に対してマイクロ波を照射することを特徴とする。チタン酸水和物からチタン酸バリウムを合成する時間を短くできるので、チタン酸バリウムを合成する効率を向上させることができる。しかも、短時間でチタン酸バリウムが合成されるので、合成過程におけるチタン酸水和物の溶解析出反応による結晶粒子形状の破壊を防ぐことができる。よって、チタン酸水和物の結晶粒子形状を維持したチタン酸バリウムを合成することができる。

【選択図】 図1

